

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細目	評価対象項目
施 工	施工管理	☐ 現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。 ☐ 施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。 ☐ 施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。 ☐ 実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。 ☐ 施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。 ☐ 産業廃棄物処理の書類が過不足なく作成されている。 ☐ 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。 ☐ 契約内容の変更について監督員と協議している。 ☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。 ☐ 官公庁届出など必要関係書類が過不足なく作成されている。 ☐ 施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点
管 理	品質管理	☐ 杭材料の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 鉄筋の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 鉄骨の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が過不足なく作成されている。 ☐ 塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が過不足なく作成されている。 ☐ 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。 ☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定 項目	細 目	評 価 対 象 項 目
施 工 管 理	出来ばえ	☐ 杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好である。 ☐ 鉄筋の配筋状態が良好なことが確認できる。 ☐ 型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鋸くず、ゴミ等がない。 ☐ コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好である。 ☐ コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少ない。 ☐ 鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できる。 ☐ 鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。 ☐ 防水工事に関する納まり(水たまり、ふくれ、端部処理)は良好である。 ☐ シーリング材が適材適所に使用され、納まりは良好である。 ☐ タイルの張り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容を満足している。 ☐ 木工事の取付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題はない。 ☐ 各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は良好である。 ☐ 左官仕上げの状態に不陸、クラックがない。 ☐ 建具(ドア、サッシ類)の可動部分の不具合がない。 ☐ ガラスの厚み、種類、留め材の施工は適切である。 ☐ 戸当たり、手摺、ハンドル類の取り付け位置等、使い勝手への配慮がある。 ☐ 塗装の塗り残し、むらがなく施工が適切である。 ☐ 仕上塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。 ☐ 仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがない。 ☐ 設備工事との取り合いに係る問題がない。 ☐ 適切な養生が行われ、汚れや傷がない。 ☐ 適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。 ☐ 自社の管理基準による社内検査を実施し、これに合格している。 ☐ [改修]外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料がある。 ☐ 出来形、精度の確保に向けた、創意工夫が見られる。 ☐ 出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。 ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点

- 備考 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
 2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
 (評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。